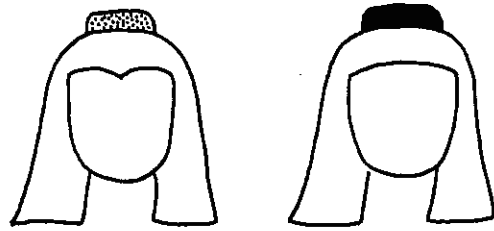
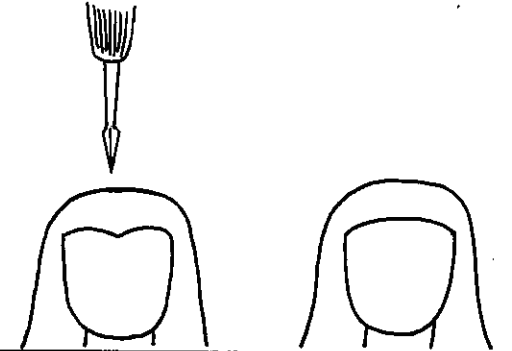


親王^立 冠の取り付け方

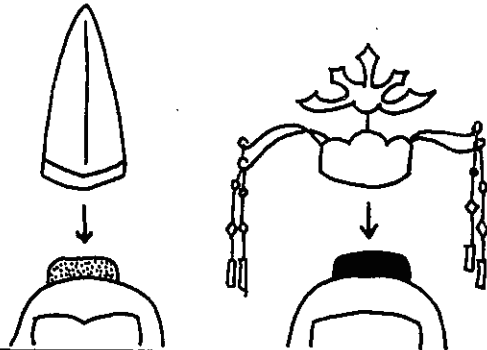
←冠から棒が出て居ない場合には、取付用のシンが入っております。先ずシンを頭に接着剤で貼り付けます。冠をのせて見て位置を決めてから糊を付けて下さい。後で髪が浮かない様に髪の毛の中まで糊をしみ込ませて下さい。



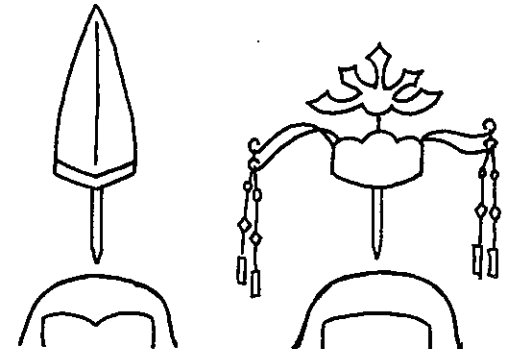
冠から取付用の棒が出ている場合には頭にキリで穴をあけなければなりません。必ずキリであけて下さい。目打ちですと顔にヒビ割れが出来ますからご注意下さい。他の人に頭をおさえてもらい、両手でゆっくりとキリをもんで下さい。



←シンを付けた糊がかわかないうちに冠をかぶせます。位置が前すぎたり後すぎたりした場合には多少ずらせて正しい位置に固定して下さい。

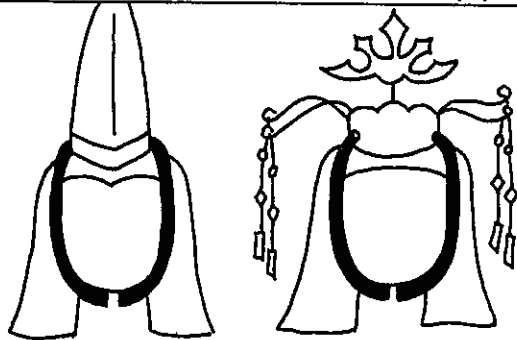


キリの穴に冠を差し込みます。この場合は後で位置をなおす事が出来ませんから、最初穴をあける時に冠の正しい位置を良く確かめてからキリをもんで下さい。



←「姫」は冠の横穴に紐を通し、「殿」は冠の下に紐をはさみ糊付けします。

図のようにアゴの処までの長さに紐を切り糊付けして下さい。糊で顔の他の部分をよごさない様に充分ご注意下さい。



最後に結んだ紐をアゴの下に糊で固定します。冠の紐と結んだ紐とは別々に付けますが、一本の紐の様に見えれば良い訳です。

